



西南杜の湖畔公園

インクルーシブな子ども広場づくり

第4回ワークショップニュース:最終プランの確認

みんなが
もっと一緒に
楽しめる
公園に!

- 第4回 プログラム
- 10:05 はじめに
全体計画及び
本日のプログラムの説明
 - 10:05 グループ内自己紹介
 - 10:15 前回のおさらい
 - 10:20 最終プランの説明
 - 10:40 質疑応答
 - 11:10 管理運営について
 - 11:15 今後の活用について
 - 11:35 発表
 - 11:45 まとめ
 - 11:50 さいごに



誰もが気軽に一緒に楽しめる遊び場「インクルーシブな子ども広場」の整備を行うこととなった西南杜の湖畔公園について、整備内容の検討を行うためのワークショップを開催しています。

* * * * *

第4回は、令和5年12月23日(土)に「プランのまとめ」をテーマに開催しました。

まずは前回のおさらいとして、修正案の共通の考え方とグループごとの修正案を確認しました。次に、前回のご意見を踏まえた事務局の最終プランについて全員で共有し、意見を出し合い、広場の整備内容をつめました。

最後に今後の管理運営について、広場を最大限に活かすアイデアをグループごとに出し合いました。



イメージパース

ワークショップ流れ

第1回
令和5.10.7(土)10:00-12:15
@七隈公民館
「現地確認とアイデア出し」



第2回
令和5.10.28(土)10:00~12:00
@七隈公民館
「基本プランの作成」



第3回
令和5.11.18(土)10:00~12:05
@七隈公民館
「プランのまとめ」



第4回
令和5.12.23(土)10:00~12:00
@七隈公民館
「最終プランの確認」



自己紹介:「お正月の過ごし方」をお題に、グループごとに自己紹介し、グループ名を付けました。



グループ内自己紹介

クリスマスイブイブ

グループ名 『クリスマスイブイブ』



グループ内自己紹介

お雑煮

グループ名 『お雑煮』

インクルーシブな子ども広場とは・・・

インクルーシブな子ども広場とは、
「誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で
自分らしく遊ぶことができる場所」

であり、そのためには、
「子どもの特性に応じた選択肢があることが必要」
です。

「整備にあたっては様々な配慮が必要」です。

- ①遊び:「種類」と「ゾーン」が選べる
- ②周辺施設:見守り,アクセス,安全性,情報環境

遊びについて
「種類」と「ゾーン」が選べる

子どもの特性に応じた選択肢	身体的遊び	精神的遊び	社会的遊び
ひとり遊びゾーン マイペースに選べる、静かに過ごせる場所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
交流遊びゾーン 多様な子どもと一緒に選べる、様々なタイプの遊具を配置、自然に人と人が触れ合える場所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然遊びゾーン 自然と触れ合い、自由に発想して子どもが選べる感覚遊びなどに集約して選べる場所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



ご意見のあった「雨宿りができる屋根付き休憩所」について、後日、公園管理者と協議し、コンパクトなものを設置できることになりました！
2か所程度の設置を予定しています。

- 雨宿りができる屋根付き休憩所
イメージ図



その他にも

- ★休憩所は従来のパーゴラより日陰ができるもの
- ★ベンチ、縁台も樹木とセットで日陰ができる配置を検討します

たくさんの
休憩施設を
あちこちに
配置します!



これまでご参加
いただいた
すべてのみなさま
ありがとうございます
ございました!

●問合せ先

福岡市役所 公園部 整備課 (担当:佐々木・永家)
メール koenseibi.HUPB@city.fukuoka.lg.jp
電話 092-711-4410



西南杜の湖畔公園 インクルーシブな子ども広場 整備イメージ図：みなさまのご意見を踏まえた計画ができました！

※遊具画像はイメージです

誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で
自分らしく遊ぶことができる場所



西南杜の湖畔公園 インクルーシブな子ども広場 整備イメージ図



今後の活用について：広場を最大限に活かすアイデアをグループごとに出し合いました。

クリスマスイブ

- 集める
 - ・小学校の遠足で使う
 - ・放課後デイサービスで遊びに来てもらう
 - ・学校や公民館で「どういう目的で作られた公園なのか」を学ぶウォークラリーのようなものを開催する
 - ・福祉事業所のイベントなどでこの広場を活用してもらう
 - ・マルシェなど開催（中高生・大学生・ボランティアも）
 - ・子ども食堂を公園でやってみたい
- 発信
 - ・はじめにアナウンス、情報提供
 - ・SNSも活用して発信（あまり紙媒体を見ない若者にも）
 - ・まずは一番来る機会の多い地域の方へ案内し知ってもらう
- 個人でできそうなこと
 - ・お互いを認識する機会・時間に
 - ・ボランティアの人がいつも2~3人いてくれるといい
 - ・研修を受けて指導の手伝いが少しできそう
- より良く活用
 - ・使って不都合があった場合のアンケート箱を所々に設置
 - ・使い方を指導してくれる人がいたらよい



お雑煮

- オープニングイベント
 - ・リニューアルオープンチラシを配布
 - ・保育園や幼稚園、スクールなどにPR「西南の杜マン」
 - ・有名人によるPRなど
- PR
 - ・市政だより、公民館だよりや町内全体に回覧板で周知
 - ・公民館で開催されているサロンなどで紹介する
 - ・特別支援学校などにチラシを配布する
 - ・町内の子供会サークルへ連絡する
 - ・まずは公園近くの子どもを呼び込むための看板・チラシ等
 - ・近くの子ども連れが来そうな飲食店へチラシ設置
- リアルな情報発信
 - ・混雑状況がわかるようにする
 - ・公民館だよりで「こんな遊具があるよ〜！」シリーズにして伝える
 - ・小学校のバリアフリー授業などで現地学習に取り入れる
 - ・公園に掲示板「ひと言メッセージ」コーナーを公開
- 全体
 - ・公園全体のイメージアップ作戦
 - ・今後も継続的に意見交換できるといい
 - ・子ども高齢者もみんなが快適に使えるようにする



現在

